

事業所名		栗山町子ども発達サポートセンター		支援プログラム		作成日		令和 7 年 2 月 1 日	
事業所理念		一人ひとりの思いを大切にしながら、子どもたちの生きる力を育みます。 成長の喜びや感動を子どもを取り巻く地域のみんなで共有しながら、子育てを応援します。							
支援方針		親子それぞれの思いに沿ったオーダーメイドの支援を提供します。 関係機関と連携し、地域の力で子育てを支えます。							
営業時間		8 時 30 分から 17 時 15 分まで			送迎実施の有無		あり なし		
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・お客様の健康管理と必要な対応を行います。小さなサインから心身の異変に気づくことができるよう、丁寧な観察を行います。 ・登降園時の身辺処理（靴の用意や着脱、荷物の整理等）をお子様にあわせて実施し、習慣化できるように支援していきます。 ・1日の流れや、イベントの説明等は視覚支援を用いる等、お子様にとって分かりやすい方法で伝え、不安なく過ごすことができるよう支援します。							
	運動・感覚	・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、運動機能の観察を行い、必要に応じて個別支援として取り組みます。 ・医療機関の指示等で特に運動リハビリが必要なお子様については、専門スタッフ（理学療法士）による支援を提供します。 ・視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、季節の遊びや制作活動等、様々な体験を提供します。							
	認知・行動	・色や数字、身の回りの事象等、様々な概念獲得に向け、お子様の特性や能力を観察し、課題の提供を行います。 ・認知の偏りを把握し、こだわりや苦手を軽減できるように支援します。 ・お子様が認知、解釈しやすいように環境を整え、ストレスなく過ごすことができるように支援します。							
	言語 コミュニケーション	・スタッフとの自然体でのやりとりを通じて、お子様の自発的な行動を引き出し、コミュニケーションの経験を積むことができるように支援します。 ・集団活動を通して、他者とのやりとりの場を提供し、スタッフが間に入り、援助、支援します。 ・お子様の特性に応じた課題を設定し、読み書き能力の向上を図ります。							
	人間関係 社会性	・思いに寄り添った言葉がけに努め、スタッフとお子様の良好な関係形成を図ります。 ・スタッフがモデルケースとなり、他者交流の経験を積むことができるように支援します。 ・集団活動を通して、ルールや順番を守ることや、協調した関わりを持てるように支援します。							
家族支援		・送迎時や、支援記録の確認等で随時情報共有をするとともに、必要に応じて面談の場を設けて、不安や困りごとへの相談援助を行います。			移行支援		・こども園や学校、医療機関と情報共有を図り、スムーズな移行を支援します。		
地域支援・地域連携		・こども園や学校、関係する福祉施設や教育委員会等と連携し、地域の力で包括的に支援を提供します。			スタッフの質の向上		・外部講師を招いた研修を開催します。 ・毎月、職場内研修を実施します。 ・職場外で開かれる研修に積極的に参加します。		
主な行事等		・北海道立子ども総合医療療育センターや岩見沢児童相談所による相談事業（希望者に実施） ・保護者教室（スキルアップ、施設見学、交流等） ・季節に合わせた行事（集団活動の中で実施）							